

＼ 話題がいっぱい /  
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、  
まちの話題をお届けします。  
ここで“なかゆくい”しませんか。  
(なかゆくい＝ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」  
にも市内のできごとを紹介しています。



### 4/1 あなたの安心をお手伝い

市役所1階に設置されている市民相談室で法律相談を行う司法書士2人、弁護士4人に令和4年度法律相談員の委嘱状が交付されました。

市民相談室は平日の一般的な相談受け付けだけでなく、毎週火曜日と水曜日の法律相談や、週3日の消費生活相談にも応じており、市民の悩み事や困り事の解決促進を図り、安心した市民生活を送れるよう手助けします。

今回、委嘱を受けた上里弁護士は「市民の皆さまには身近な相談でもお気軽にご利用いただきたい」と意気込みました。



### 3/23 新1年生にランドセルカバーを寄贈

子どもたちを交通事故から守るため、株式会社ヨビケンから頂いた寄付金でランドセルカバーが作られ、その他の交通安全グッズと併せて市内の小学一年生1287人に届けられました。平成29年から続くランドセルカバーの寄贈は、今回で6回目となります。

寄贈のために市役所を訪れた株式会社ヨビケンの小嶋社長は「沖縄に来て14年、車に関連した会社として、交通安全のために少しでも何か役に立てればと行っている寄付をこれからも続けたい」と述べ、松本市長は「皆さんのコツコツと物事を成し遂げる思いが子どもたちの安全につながっています」とお礼の言葉を伝えました。



### 4/7 みんなで守ろう交通ルール

4月6日から15日までの10日間、「手を上げる 子どもはあなたを 信じてる」のスローガンのもと春の全国交通安全運動が全国一斉に実施され、本運動の気運の盛り上げと市民への周知を図るため、市役所市民広場で出発式が行われました。

全国共通の重点目標として「子どもを始めとする歩行者の安全確保」、「歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上」、「自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保」を挙げています。

式には自治会長、浦添市交通安全母の会、交通安全指導員が参加し交通ルールの再確認を行いながら交通安全を呼びかけました。



### 4/5 地域で支え合う取り組みが高評価

令和3年度沖縄県福祉のまちづくり賞県知事賞受賞報告が市長応接室で行われ、市社会福祉協議会が推進する神森中学校区コミュニティづくり推進委員会の高齢者ささえあい部会「福ふく会」の皆さんと、共同農園でボランティアに励む津波古政則さんが出席しました。

福ふく会の、認知症高齢者との接し方を伝える「認知症劇」を通じた福祉教育活動や、共同農園で高齢者や障がい者等の社会参加を促す活動等が評価され、県知事賞を受賞しました。

松本市長は「津波古さんや福ふく会の皆さんの毎日の頑張りや、素晴らしい受賞につながった」と称賛しました。



### 4/1 希望を胸に新たな一歩

新年度の初日、浦添市の辞令交付式が中央公民館で行われ、浦添市歌の入場曲とともに先輩職員が見守る中、新職員21人が社会人として新たな一歩を踏み出しました。

真新しいスーツに身を包み、緊張した表情をにじませながらも堂々とした様子の新職員たちは市長、教育長、消防長からそれぞれ辞令書を受け取りました。

新職員代表あいさつを務めた瑞慶山翔太さんは「浦添市職員の一員として働くことを光栄に思うと同時に、公務の責任の重さに身が引き締まります。市民に真摯に向き合い、市の発展に貢献できるように尽力します」と誓いの言葉を述べました。



### 3/17 未来につなぎ、咲かせ続けたい 桜植樹式

株式会社伊藤園と公益財団法人日本さくらの会が協働で取り組んでいる「わたしの街の未来の桜プロジェクト」の植樹式がANA SPORTS PARK浦添で行われ、沖縄伊藤園から浦添市にカンヒザクラ6本が贈られました。

このプロジェクトは、商品の売り上げの一部で全国に桜の植樹と保全を展開する活動で、今回は沖縄県内では初めての植樹となり、全国で1068本目の寄贈となりました。

松本市長は「浦添に沖縄伊藤園本社屋が創業間もない頃からあったというご縁でこの植樹が実現しました。2月ごろに訪れる人を満開の桜でお迎えできることを嬉しく思います」と話しました。



### 3/15 90歳のスマホデビュー

コロナ禍で2度にわたり中止となった「シニアのためのスマホ講座」が中央公民館で全3回開催され、60代から90代までの13人が参加しました。

講座では、スマホ操作の基本である指の使い方から始まり、LINEの操作にもチャレンジしました。受講者同士でビデオ通話も体験し、お互いの画面がつながると顔を見合わせてにっこり。他にもYouTubeで好きな音楽を音声で検索して楽しみました。

受講者は「旅行の時にスマホで航空券を買って、地図アプリで目的地を探せるようになりたい」など、講師やサポーターに方法を教えてもらい、今後のスマホ生活を楽しみにしていました。